

① 被災資産の価値の減少分を計算する。(損失額)

被災した住宅、家財等の損失額の計算書

住所 静岡県清水区 氏名 サンプル

損害年月日	<u>4.9.23</u>	損害の原因	<u>令和4年台風15号</u>	
住宅・家財等の損失額の計算				
住宅の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> その他()	
住宅の区分	<input type="checkbox"/> 平屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二階建 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 二階建 <input type="checkbox"/> その他()	
住宅の構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> その他()	
住宅の取得年月	<u>2019年8月</u>		年 月	
住宅の床面積	<u>122</u> m ²		m ²	
被害の区分	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 流出 <input type="checkbox"/> 埋没 <input checked="" type="checkbox"/> 倒壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部破損 <input checked="" type="checkbox"/> 床上浸水 <u>40</u> cm <input type="checkbox"/> 床下		<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 流出 <input type="checkbox"/> 埋没 <input type="checkbox"/> 倒壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> 床上浸水 cm <input type="checkbox"/> 床下	
浸水時間	<input type="checkbox"/> 24時間以上 <input checked="" type="checkbox"/> 24時間未満		<input type="checkbox"/> 4時間以上 <input type="checkbox"/> 4時間未満	
土砂(海水)の流入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無し		有	
1 住宅 の 損失 額	(1) 取得価額等が明らかな場合 住宅の取得価額	①	<u>24,000,000</u> 円	円
	(2) (1) 以外の場合 1m ² 当たりの工事費用×総床面積	②	<u>178</u> 千円/m ² × <u>122</u> m ² <u>= 21,716,000</u> 円	_____ 千円/m ² × _____ m ² = _____ 円
	(①・②) × 0.9 × 償却率 (<u>0.031</u>) × 経過年数 (<u>3</u> 年)	③	<u>2,008,800</u>	
	被災直前の時価相当額 ((①・②) - ③)	④	<u>21,991,200</u>	
	損害額 (④ × 被害割合 (<u>20</u> %))	⑤	<u>4,398,240</u>	
	保険金などで補てんされる金額	⑥	<u>3,000,000</u>	
	差引損失額 (⑤ - ⑥)	⑦	<u>1,398,240</u>	
2 家 財 の 損失 額	(1) 取得価額等が明らかな場合 家財の時価の合計額 (別紙から転記)	⑧	<u>不明</u> 円	
	(2) 家族構成別家財評価額 (世帯主の年齢 <u>45</u> 歳: 独身 <u>未婚</u>)	⑨	<u>11,000,000</u> 円	
	(1) 以外の 場合	⑩	大人 1,300,000 円 × _____ 人 = _____ 円 子供 800,000 円 × <u>2</u> 人 = <u>1,600,000</u> 円 計 <u>1,600,000</u> 円	
	被災直前の時価相当額 (⑨ + ⑩)	⑪	<u>12,600,000</u> 円	
	損害額 ((⑧・⑪) × 被害割合 (<u>25</u> %))	⑫	<u>3,150,000</u>	
	保険金などで補てんされる金額	⑬	<u>1,000,000</u>	
差引損失額 (⑫ - ⑬)	⑭	<u>2,150,000</u>		
3 車 両 の 損失 額	普通・軽の区分	軽 <u>普通</u>		(<u>軽</u>)
	取得年月	<u>2019年12月</u>		<u>2017年1月</u>
	車両の取得価額	⑮	<u>1,500,000</u> 円	<u>1,000,000</u> 円
	⑮ × 0.9 × 償却率 × 経過年数 (<u>0.111</u>) (<u>3</u> 年)	⑯	<u>449,550</u>	<u>950,000</u>
	被災直前の時価相当額 (⑮ - ⑯)	⑰	<u>1,050,450</u>	<u>50,000</u>
	損害額 (⑰ × 被害割合 (<u>100</u> %))	⑱	<u>1,050,450</u>	<u>50,000</u>
保険金などで補てんされる金額	⑲	<u>0</u>	<u>0</u>	
差引損失額 (⑱ - ⑲)	⑳	<u>1,050,450</u>	<u>50,000</u>	
差引損失額の合計 (⑦ + ⑭ + ⑳)	㉑	<u>4,648,690</u>		

※汚泥を含む場合は
有りと判断
→

金額
→

住宅
→

金額
→

家財
→

金額
→

金額
→

計算スタート

② 被災に伴って支出した金額を集計します。(災害関連支出)

令和
(平成 4 年分)

雑損失の金額の計算書

氏名 サンプル

この計算書は、災害により住宅や家財などに被害を受け、雑損失の金額のうちに災害関連支出がある場合に使用します。
 なお、損失額の合理的な計算方法により損失額を計算する場合には、「被災した住宅、家財等の損失額の計算書」を併せて使用します。

1 損害の原因等

損害の原因	令和4年台風15号	損害年月日	4.9.23	→申告書第二表「雑損控除」の「損害の原因」欄及び「損害年月日」欄にそれぞれ転記します。
-------	-----------	-------	--------	---

2 災害関連支出の内訳

区分	支払先の名称・所在地等	工事内容	支払年月日	支払金額	支払金額の内訳			A 原状回復のための支出額 ($\times 30\% + \text{イ}$)	
					イ 原状回復のための支出金額	ロ 資本的支出の金額	ハイとロの区分が困難な金額		
原状回復のための支出	住宅	A社	内装	4.12.20	7000.000	5000.000	0	2000.000	5600.000
				..					
	家財	B社	家具一式	4.12.20	3000.000	0	0	3000.000	900.000
				..					
	車両	C社	エンジン	4.11.30	500.000	500.000	0	0	500.000
				..					
合計					5500.000	0	5000.000	7000.000	
取壊し、除去等の費用	区分	支払先の名称・所在地等	工事内容	支払年月日	B 支払金額	【備考】			
	車両	D社	廃車	4.10.31	30.000				
				..					
				..					
				..					
				..					
				..					
				..					
合計					30.000				

③ ①, ②の金額を使って 雑損控除額を算出します

3 損失額の計算

区 分	住 宅 円	家 財 円	車 両 円	円	円	C 合 計 円
損害金額 (「被災した住宅、家財等の損失額の計算書」を使用した場合には⑤、⑥、⑦の金額をそれぞれ「住宅」、「家財」又は「車両」の欄に記入します。)	① 43,982,400	3,150,000	1,100,450			
原状回復のための支出額 (2のA欄の各区分ごとの金額)	② 5,600,000	900,000	500,000			
①と②のいずれか大きい方の金額	③ 5,600,000	3,150,000	1,100,450			9,850,450
③から差し引く保険金等で補てんされる金額 (③の金額を超える場合は③の金額)	④ 3,000,000	1,000,000	0			4,000,000
③ - ④	⑤ 1,600,000	2,150,000	1,100,450			
原状回復に係る災害関連支出の金額 (② - ①) (赤字のときは0、⑤の金額を限度)	⑥ 12,017,600	0	0			
取壊し、除去等の額の合計額 (2のB欄の各区分ごとの金額)	⑦ 0	0	30,000			30,000
⑦から差し引く保険金等で補てんされる金額 (⑦の金額を超える場合は⑦の金額)	⑧ 0	0	0			0
⑦ - ⑧	⑨ 0	0	30,000			
災害関連支出の金額 (⑥ + ⑨)	⑩ 12,017,600	0	30,000			12,317,600
損失額の計 (① + ⑩)	⑪ 5,600,000	3,150,000	1,130,450			9,880,450

4 雑損失の金額 (雑損控除額) の計算

	損害金額等の全体 円	
損害金額 ((③のC) + (⑦のC))	⑫ 9,880,450	→ ⑫の金額を申告書第二表「雑損控除」の「損害金額」欄に転記します。
保険金などで補てんされる金額 (④のC) + (⑧のC)	⑬ 4,000,000	→ ⑬の金額を申告書第二表「雑損控除」の「保険金などで補填される金額」欄に転記します。
差引損失額 (⑫ - ⑬)	⑭ 5,880,450	
所得金額	⑮ 3,349,811	← この計算書の「書き方」をご覧ください。
⑮ × 0.1	⑯ 334,981	
⑭ - ⑯	⑰ (赤字のときは0) 5,545,469	
差引損失額のうち災害関連支出の金額 (⑩)	⑱ 12,317,600	→ 申告書第二表「雑損控除」の「差引損失額のうち災害関連支出の金額」欄に転記します。
⑱ - 50,000円	⑲ (赤字のときは0) 11,817,600	
雑損失の金額 (⑰と⑲のいずれか多い方の金額)	⑳ 5,545,469	→ 申告書第一表「雑損控除」欄に転記します。
雑損控除額 (⑮と㉑のいずれか少ない方の金額)	㉑ 3,349,811	⑲に分離課税の土地建物等の譲渡所得の金額が含まれている場合には、この計算書の「書き方」をご覧ください。
翌年以後に繰り越す雑損失の金額 (㉑ - ⑮)	㉒ (赤字のときは0) 2,195,658	

この金額が、今期の所得から控除される金額になります。

この金額が発生するときは、第四表を作成して、翌年に繰り越します。